



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 カネヨウ株式会社

コード番号 3209 URL <http://www.kanevo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川島 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当

(氏名) 中村 陽介

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,251	△6.8	43	—	29	—	24	—
28年3月期第2四半期	4,561	△5.1	△13	—	△25	—	△25	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.74	—
28年3月期第2四半期	△1.85	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
29年3月期第2四半期	5,324	—	1,063	—	20.0	—	75.76	
28年3月期	4,981	—	1,042	—	20.9	—	74.30	

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 1,063百万円 28年3月期 1,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	1.0	85	91.2	40	255.3	45	326.2	3.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	14,066,208 株	28年3月期	14,066,208 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	34,842 株	28年3月期	34,394 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	14,031,744 株	28年3月期2Q	14,031,931 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は日銀のゼロ金利政策も目立った効果はなく、年初以来、海外からの投資金額は5兆円程の売り越しとなり、それを日銀がある程度買い支えたという結果で、株価も混迷を続けました。

このような環境下、当社におきましては、収益の拡大を目標に、当社の役割の大きな取引に集中し、売上総利益率の向上に努力してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は売上高42億51百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は43百万円(前年同期は13百万円の営業損失)、経常利益は29百万円(前年同期は25百万円の経常損失)、四半期純利益24百万円(前年同期は25百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①寝装用原料

当第2四半期累計期間の寝装用原料の売上高は15億57百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は76百万円(同62.0%増)となりました。

羽毛原料はヨーロッパ産原料を中心に販売が好調で、売上を伸ばすことができました。

合繊原料は寝装分野の販売は低調も、不織布分野の販売が伸び、利益を確保することができました。

羊毛原料は寝装用途の使用が減少し、苦戦を強いられました。

②寝装製品

当第2四半期累計期間の寝装製品の売上高は7億8百万円(前年同期比15.8%減)、営業利益は29百万円(同1.2%減)となりました。

春夏商品はガーゼケットに動きがあったものの全体には低調でした。また、残暑が続き秋冬商品の立ち上がり鈍く、さらに利益率の悪い取引から撤退した影響で、売上は前年を下回りましたが、利益率を改善することができ、前年並みの利益を確保いたしました。

③リビング・インテリア用品

当第2四半期累計期間のリビング・インテリア用品の売上高は7億42百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は36百万円(前年同期は3百万円の営業利益)となりました。

紙面通販はECとの競争激化の影響と個人消費の伸び悩み等で苦戦が続きました。ネット通販やインテリア間屋・小売等の取組に注力し売上を伸ばさせることができました。また円高により利益率の改善が進みました。

④生地反物等繊維製品

当第2四半期累計期間の生地反物等繊維製品の売上高は7億16百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は25百万円(同6.1%減)となりました。

ニット素材は、天然繊維や機能素材の拡販に努めましたが、需要が低迷し売上を伸ばすことができませんでした。

大手アパレルへの製品販売は、好調に推移しました。

⑤生活関連用品

当第2四半期累計期間の生活関連用品の売上高は5億24百万円(前年同期比22.5%減)、営業利益は13百万円(同22.6%減)となりました。

農業資材、輸送用の梱包、保冷資材は市況の低迷により荷動きが停滞し、苦戦を強いられました。

健康食品、生活雑貨は需要の低迷で売上を伸ばすことができませんでした。

⑥その他

当第2四半期累計期間のその他の売上高は1百万円(前年同期比75.1%減)、営業利益は0百万円(前年同期は0百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の49億81百万円に比し、3億43百万円増加し、53億24百万円となりました。増加の主因は、季節的な要因によりる売上債権の増加3億46百万円、および、秋冬シーズン販売用商品備蓄により在庫が1億86百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の39億38百万円に比し、3億22百万円増加し、42億61百万円となりました。増加の主因は、売上債権同様季節的な要因による仕入債務の増加3億50百万円です。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の10億42百万円に比し、20百万円増加し、10億63百万円となりました。増加の主因は、四半期純利益の計上24百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月6日公表の予想を修正致しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日(平成28年11月4日)公表の「平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	891,128	709,658
受取手形及び売掛金	2,335,599	2,682,084
商品	765,791	952,095
その他	38,142	41,419
貸倒引当金	△6,541	△11,278
流動資産合計	4,024,120	4,373,978
固定資産		
有形固定資産	608,944	609,540
無形固定資産	4,342	6,292
投資その他の資産	343,952	334,863
固定資産合計	957,239	950,696
資産合計	4,981,360	5,324,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,902,432	2,252,716
短期借入金	1,454,198	1,423,048
未払法人税等	2,922	8,394
賞与引当金	7,600	7,500
その他	229,136	265,651
流動負債合計	3,596,289	3,957,310
固定負債		
長期借入金	80,761	48,187
その他	261,789	256,176
固定負債合計	342,550	304,363
負債合計	3,938,839	4,261,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
資本剰余金	138,353	138,353
利益剰余金	△185,396	△160,987
自己株式	△2,607	△2,634
株主資本合計	653,659	678,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,007	88,275
繰延ヘッジ損益	△28,891	△25,060
土地再評価差額金	321,743	321,743
評価・換算差額等合計	388,860	384,958
純資産合計	1,042,520	1,063,000
負債純資産合計	4,981,360	5,324,674

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,561,239	4,251,779
売上原価	4,317,213	3,967,213
売上総利益	244,026	284,566
販売費及び一般管理費	257,476	241,479
営業利益又は営業損失(△)	△13,450	43,087
営業外収益		
受取利息	720	579
受取配当金	3,549	3,909
受取賃貸料	6,900	6,900
ゴルフ会員権退会益	3,200	—
その他	17	1
営業外収益合計	14,387	11,390
営業外費用		
支払利息	19,409	18,567
賃貸収入原価	5,939	6,007
その他	1,125	193
営業外費用合計	26,474	24,768
経常利益又は経常損失(△)	△25,538	29,709
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△25,538	29,709
法人税、住民税及び事業税	400	5,300
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	400	5,300
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,938	24,409

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△25,538	29,709
減価償却費	8,602	9,694
無形固定資産償却費	282	409
長期前払費用償却額	263	263
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,784	△1,149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,600	△100
受取利息及び受取配当金	△4,269	△4,488
支払利息	19,409	18,567
ゴルフ会員権退会損益 (△は益)	△3,200	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△419,127	△346,484
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△7,803	17,126
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△81,537	△186,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	465,597	350,283
その他	67,330	34,488
小計	29,396	△77,982
利息及び配当金の受取額	4,299	4,521
利息の支払額	△19,348	△19,503
法人税等の支払額	△688	△710
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,658	△93,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,407	△10,129
関係会社株式の売却による収入	53,763	-
ゴルフ会員権の退会による収入	4,000	-
その他	△11,238	△8,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,117	△18,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△63,000	-
長期借入金の返済による支出	△102,914	△63,724
自己株式の取得による支出	△26	△26
その他	△4,548	△5,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,488	△69,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,181	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△113,893	△181,470
現金及び現金同等物の期首残高	566,091	891,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	452,197	709,658

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。